

環境負荷削減の目標・実績

当社は、単年度ごとに環境に影響を与える活動、サービスを再点検した上で環境目的・目標を設定し、環境負荷低減の取り組みを行っています。

平成20年度目標と実績

目標達成。さらに環境負荷低減に大きく貢献
 目標達成
 目標未達成

取り組みテーマ	環境目的	平成20年度目標	平成20年度実績	評価
地球温暖化防止	鉄道電力の削減	運転用原単位 対前年度比1%削減	対前年度比 2.34%削減	
	エコオフィスの推進	電力使用量 対前年度比+3.0%に抑制	対前年度比 0.3%増加	
	公共交通利用促進	公共交通利用促進に関する取り組み検討および施策実施	・パーク&ライド ・サイクル&ライド ・モビリティマネジメントを実施	
騒音・振動の低減	列車の騒音振動低減	・鋼桁のPC桁化(複々線8.7m) ・踏切警報音の減音(2踏切) ・パンタグラフ舟体のCFRP製化(18両)	・複並第3架道橋(8.7m) ・踏切警報音の減音(2踏切) ・パンタグラフ舟体のCFRP製化(18両)	
環境にやさしい物品の購入	グリーン購入の推進	インターネットによる文房具類の環境対応品購入率 86%	インターネットによる文房具類の環境対応品購入率 83.3%	
資源消費の削減	エコオフィスの推進	紙使用量 対前年度比0.2%削減 水使用量 対前年度比0.7%削減	紙使用量 対前年度比4.7%削減 水使用量 対前年度比1.4%増加	
環境コミュニケーション	情報開示の推進	CSR報告書2008の発行	CSR報告書2008発行(平成20年8月)	
	美化活動の推進	京阪グループ社員による春秋2回の沿線清掃活動および地域団体主催活動への積極的参加	・年2回実施 ・その他清掃活動のべ18回実施	
	エコステーションの推進	樟葉駅を中心とした京阪グループの環境に対する取り組みをアピールする	樟葉駅周辺清掃活動の実施(2回)	
研究開発	環境配慮設計推進	環境配慮設計チェックシート不採用項目の調査	・調査の結果、83.9%(847/1009)が採用され、残りが不採用	
	列車の騒音振動低減技術検討	列車騒音低減技術の検討・試行	・車輪/レール摩擦緩和システムの試験実施 ・架道橋吸音材設置試験実施	
	紙使用量削減方法検討	ワーキンググループでの調査	ワーキンググループ立ち上げ	

平成21年度目標

取り組みテーマ	環境目的	平成21年度目標
地球温暖化防止	鉄道電力の削減	運転用原単位 対平成19年度比2%削減
	エコオフィスの推進	電力使用量 対前年度比4.7%削減
	公共交通利用促進	公共交通利用促進に関する取り組み検討および施策実施
騒音・振動の低減	列車の騒音振動低減	抜本的な騒音・振動対策工事の実施 5ヵ所以上
環境にやさしい物品の購入	グリーン購入の推進	インターネットによる文房具類の環境対応品購入率 86%
資源消費の削減	エコオフィスの推進	紙使用量 対前年度比0.1%削減 水使用量 対前年度比+2.2%に抑制
環境コミュニケーション	情報開示の推進	CSR報告書2009の発行
	美化活動の推進	各エリア独自で年2回以上の清掃活動および行政など主導活動への積極参加
研究開発	環境配慮設計推進	チェックシートにおける各採用項目の件数把握
	列車の騒音振動低減技術検討	騒音・振動低減技術の検討および試行

平成20年度の実績について

当社にとって、鉄道電力の削減は地球温暖化防止のための最も重要な取り組みとされており、平成20年度は設定した目標を達成することができました。新型車両の導入や電力設備の省エネルギー化などの効果が表れたものと思います。

また、公共交通利用促進も大きな目標と捉えており、浜大津でのパーク&ライドの取り組みについても着実に利用者数が増え、大きな効果を上げてきています。

平成21年度も平成20年度の実績をさらに上回るよう努力していきます。